

災害救護速報

令和8年熊本地震にかかる 日本赤十字社の対応等について(第1報)



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2026年7月29日(水)
事業局 救護・福祉部 救護課

1 災害の概要

(1) 概要 [気象庁情報: 7月28日20時30分 現在]

- ・令和8年7月28日16時27分に発生
- ・震源地は、熊本県熊本地方でマグニチュード7.1と推定
- ・最大震度は7を観測(熊本県宇城市、氷川町)
- ・同日16時29分に津波注意報が発表されたが、その後解除され、被害の心配はない

(2) 災害救助法の適用 [内閣府(防災担当)情報: 7月28日 現在]

- ・熊本県の10市10町1村に災害救助法が適用。

災害救助法が適用された市町村

熊本市、八代市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、天草市、合志市、下益城郡美里町、菊池郡大津町、菊池郡菊陽町、阿蘇郡西原村、上益城郡御船町、上益城郡嘉島町、上益城郡益城町、上益城郡甲佐町、八代郡氷川町、葦北郡芦北町、葦北郡津奈木町

1 災害の概要

(3) 被害状況 [消防庁情報：7月29日14時00分 現在]

ア 人的被害

	死者	負傷者		その他
		重傷	軽傷	
熊本県	11 人	8 人	12 人	負傷者多数
福岡県	0 人	1 人	0 人	
大分県	0 人	0 人	1 人	
鹿児島県	0 人	0 人	1 人	

イ 住家被害

- ・火災：9件発生したが、すべて鎮火済み
- ・損壊：震度7の地域を中心に家屋倒壊が発生
救助事案は54件発生しているため対応中

1 災害の概要

(4) 避難所の状況 [熊本県危機管理防災局情報：7月29日14時00分 現在]

- 避難所開設数：432カ所
- 避難者数：8,886人

1 災害の概要

(5) ライフライン等の状況

ア 水道関係[国土交通省情報: 7月29日12時00分 現在]

都道府県	断水戸数
熊本県	約82,540戸 (熊本市: 約20,000戸、八代市: 約18,000戸、宇城市: 約14,000戸、 上天草市: 約8,220戸、氷川町: 約10,500戸、宇土市: 約10,000戸、 芦北町: 約1,000戸 他)

イ 電力関係[九州電力送配電ホームページ: 7月29日15時05分 現在]

都道府県	停電戸数
九州電力	熊本県: 約34,870戸 (八代市: 約15,070戸、宇城市: 約7,960戸、益城町: 約4,380戸、 氷川町: 約3,460戸、宇土市: 約3,030戸 他)

2 熊本県内の赤十字施設の状況

[7月29日8時30分 現在]

施設名	被害状況	対応状況
熊本県支部	被害状況等なし	第三次救護体制を施行のうえ、災害対策本部を設置し災害対応中
熊本赤十字病院	・建物、ライフライン:被害なし ・患者等:被害なし	・救命救急センター:負傷者及び急病患者を受け入れ中 ・一般外来、予定入院:7月31日まで一時中止 ・他医療機関から患者の受け入れを行う
熊本県赤十字血液センター 及び 県内献血ルーム	・採血装置の転倒が発生 ・献血者等:被害なし	・採血業務:7月29日は献血ルーム及び移動採血による採血業務はすべて中止 ・供給業務:遅延はあるが、医療機関への供給に支障は生じていない
日本赤十字社熊本健康管理センター	被害状況等なし	7月29日においては人間ドック及び健康診断等は中止し、臨時閉館

3 日本赤十字社の主な活動状況

(1) 救護体制 [7月29日11時00分 現在]

本社・ブロック	支部名	救護体制 (※)
本社	—	第2次救護体制
第6ブロック(九州・沖縄)	福岡県支部	第3次救護体制
	佐賀県支部	第2次救護体制
	長崎県支部	第2次救護体制
	熊本県支部	第3次救護体制
	大分県支部	第2次救護体制
	宮崎県支部	第2次救護体制
	鹿児島県支部	第3次救護体制
	沖縄県支部	第3次救護体制

【※】 第1次救護体制: 救護担当部門で対応、第2次救護体制: 原則全部門で対応
 第3次救護体制: 全職員で対応

3 日本赤十字社の主な活動状況

(2) 職員の派遣状況 [7月29日18時30分 現在]

ア 関係機関への職員派遣 派遣延べ人数 2人

派遣元	派遣数	派遣先	活動内容	派遣期間
熊本県支部	1人	熊本県庁	熊本県災害対策本部会議	7/28～

3 日本赤十字社の主な活動状況

イ 救護班

派遣延べ人数 4班30人

支部名	派遣元	派遣数	派遣先	活動内容	派遣期間
福岡県支部	福岡赤十字病院	1班8人	熊本労災病院	患者搬送	7/29～7/31
		1班8人	八代更生病院	病院支援等	7/29～7/31
佐賀県支部	唐津赤十字病院	1班7人	宇城保健所	情報収集	7/29～7/31
長崎県支部	長崎原爆諫早病院	1班7人	宇城保健所	情報収集	7/29～7/31

3 日本赤十字社の主な活動状況

ウ 日赤災害医療コーディネートチーム 派遣延べ人数 3チーム8人

支部名	派遣元	派遣数	派遣先	活動内容	派遣期間
熊本県支部	熊本赤十字病院	1チーム 3人	熊本労災病院	情報収集	7/29～7/31
佐賀県支部	唐津赤十字病院	1チーム 2人	宇城病院	情報収集	7/29～8/3
沖縄県支部	沖縄赤十字病院	1チーム 3人	熊本県庁	情報収集	7/29～8/3

3 日本赤十字社の主な活動状況

エ 本社初動派遣要員、支部支援要員・広報要員
派遣延べ人数 6人

本社・支部名	派遣数	派遣先	活動内容	派遣期間
本社	3人	熊本県支部	支部支援	7/29～派遣継続中
本社	3人	熊本県支部等	広報業務	7/29～派遣継続中

3 日本赤十字社の主な活動状況

才 内閣府調査チーム(※)への職員派遣 派遣延べ人数 1チーム2人

本社・支部名	派遣元	派遣数	派遣先	活動内容	派遣期間
本社	日本赤十字社 医療センター	1チーム 2人	熊本県庁	災害対応に かかる支援等	7/28～ 派遣継続中

※被災地において、関係省庁及び被災地方公共団体と緊密な連携をとりつつ、主に次に掲げる任務にあたるもの。
内閣府との協定に基づき、日本赤十字社の医師等が同チームに帯同。

- ・被災地の調査及び被害情報その他の現地情報の収集
- ・被災地方公共団体が行う災害対応に関する支援



「発災直後に内閣府調査チームとして熊本県へ出発する職員」

3 日本赤十字社の主な活動状況

(3) 義援金の受付 [7月29日16時00分 現在]

受付開始に向け準備中

※皆様方からお寄せいただく義援金は、被災都道府県が設置する義援金配分委員会を通じ、被災地の方々の生活支援に役立てられます。